

# 週報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

## 2024 年度年間聖句

「常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば、主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる。」  
(箴言 3 章 6 節)



### どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半  
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時～10 時  
祈 禱 会 各水曜日  
○昼の聖書研究祈禱会  
(第 3・午後 2 時)  
●夕の祈禱会  
(第 2、第 4・午後 7 時)

牧 師 井 殿 準  
協力牧師 堂 本 陽 子  
協力牧師 井 東 炤

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65  
TEL. 0 4 2-7 4 2-1 5 9 3  
FAX. 0 4 2-7 4 2-1 3 9 3  
ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>  
郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計  
0 0 2 9 0-4-8 0 7 0 7

# 3118 2024 年 7 月 28 日

## 礼拝式順序

(聖霊降臨節第 11 主日)

司 式 者 井 殿 準  
奏 楽 者 黒 田 理 佳

前 奏 奏 楽 者  
招 詞 詩編 149: 1b ~ 3 司 式 者  
讃 美 歌 1 4 8 「全地よ、主に向かい」 一 同  
聖 書 司 式 者  
エフェソ 2: 1 ~ 1 0 (新 P.353)  
ルカ 1 8: 9 ~ 1 4 (新 P.144)  
使徒信条 (9 3 - 4 - A) 一 同  
祈 禱 司 式 者  
讃 美 歌 1 4 3 「主をほめ、主に感謝せよ」 一 同  
説 教 「何に感謝するのか」 司 式 者  
祈 禱 ”  
讃 美 歌 4 4 2 「はかりも知れない」 一 同  
献 金 ”  
主の祈り (9 3 - 5 - A) ”  
頌 栄 2 7 「父・子・聖霊の」 ”  
祝 禱 司 式 者  
答 唱 4 0 - 6 「アーメン」 一 同  
報 告 司 式 者  
讃 美 歌 9 1 「神の恵みゆたかに受け」 一 同

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。
- ・マスクの着用は個人の判断にお任せいたします。ご心配な方はマスクを着用してください。

先週の説教要旨

「確信は心の内に」

(ローマ 14: 10 ~ 23)

ローマの教会では、「何を食べても良い」と信じている人々と野菜しか食べない人々が互いに非難し合い、裁き合うという問題が起こっていた。これに対して、パウロは、「神の国は、飲み食いではなく、聖霊によって与えられる義と平和と喜びなのです」と訴える。共に「義と平和と喜び」である「神の国」を目指しているのに、それとは正反対に裁き合い、争い合っているとするなら、本末転倒であると言うのだ。

ここで問題となっているのは「教会の交わり」(人間関係)である。「交わり」があるところには、複数の人が存在する。「交わりがある」とは、「独りではない」ということだが、時に、人は人間関係を煩わしく思い、独りでないことに苦痛を感じる。しかし、独りでないことを喜べない生き方とは、何と寂しい生き方であろうか。

中には、愛する者に先立たれて、期待に反して、独りになってしまった者もいることだろう。しかし、我々は独りではない。神が共にいてくださっている。そして、その神は、独り子をお与えになるほどに我々のことを愛してくださっている。この愛に気付かされる時、我々の心は神へと向かい、我々は自己中心の生き方から神中心の生き方へと変えられて行く。

今日の聖書の御言葉において、パウロは『『何を食べるのかに気を付けなければキリスト者とは言えない』と確信して人を裁くのではなく、『救いは律法の行いによるのではなく、信仰による』と確信して律法食物規定に縛られる人を裁くのもなく、確信は心の内に抱きつつ、何より義と平和と喜びである神の国を指し示すようなあなたたちでありなさい』と教えている。

自己中心の生き方は悲しい生き方である。それ故、我々は、神が尊い独り子の命と引き換えにしてまで破れ多い罪人の我々を愛してくださっていることを思い起こしつつ、自己中心の心から神中心の心へと変えられながら、独りではないことに喜ぶ者、神が共にいてくださることに喜び、その喜びに押し出されつつ、隣り人と共にあることを喜ぶ者となりたい。